



日本農芸化学会 第33回さんわかセミナー

日本農芸化学会産学官若手交流会さんわか × 沖縄バイオベンチャー コラボ企画！

「バイオ産業における

産学官の現在と未来 in 沖縄」

2019年2月21日 (木) 13:00～ (受付12:30～)

琉球大学 研究者交流施設・50周年記念館

(〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地)

参加費無料 (技術交流会は有料)

日本農芸化学会会員
ではない方も参加費無料!!
バイオやベンチャーに興味のある教職員や
学生の参加お待ちしております

第1部 日本農芸化学会とさんわかの紹介

勝山 陽平 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

『日本農芸化学会とさんわかの活動について』

岸野 重信 (京都大学大学院農学研究科)

『腸内細菌に特異な代謝と代謝産物の生理機能』

若木 学 (農研機構 食品研究部門)

『農産物、食品の抗酸化能について』

高倉 淳 (味の素株式会社)

『酵素を用いたNε-アシル-リジンの製法開発』

常田 啓太 (サッポロホールディングス株式会社)

『ホップ品質の多角的な解析とその応用』

第2部 沖縄バイオベンチャー企業による講演会

岩本 竜吾 (一般社団法人トロピカルテクノプラス)

『沖縄における産学官連携の現状と展望』

望月 智代 (沖縄県工業技術センター)

『おいしさの見える化? 沖縄そばとカレーの香り?』

稻福 直 (株式会社カタリスト琉球)

『「新 沖縄ブランド WELLNESS OKINAWA

JAPAN』

三拍子戦略をコンセプトにした商品開発』

島田 邦男 (琉球ボーテ株式会社)

『シークワーサー由来のノビレチンによる大学発化粧品の開発』

神楽田 徳夫 (株式会社KAGURADA)

『低コスト小規模植物工場システムの開発』

■技術交流会：17:20～ 琉球大学 研究者交流施設・50周年記念館 交流ラウンジ

【参加費/2,000円、学生500円】

定 員：先着80名

詳細はさんわかホームページをご覧ください。

さんわか

検索

主 催：日本農芸化学会 産学官若手交流会 さんわか

問合せ：sanwaka_open2@jsbba.or.jp